
---M-B-G---死の学園

Dreameアドベンチャー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

――M―B―G――死の学園

【Nコード】

N6488Y

【作者名】

Dreamアドベンチャー

【あらすじ】

ネット上のゲーム MBG まじかるブラゲ学院のオープンβテストが行われる
そこでの話だ

<プロローグ> (前書き)

――運宮――

「予想通り応募はたくさん来ましたね。」

「ああ。もちろんだ。来ないはずがない。だが来たということはあれを味わってもらえないな。」

「本当にあれを実施するんですか？」

「もちろんだとも。これも実験だよ。実験。実験に犠牲はつきものさ。」

「先生！ やっぱ僕は賛成できません！！　すぐやめるべきです！！」

「残念だよ。君には期待していたんだがな・・・」

バンッ！！

「せん・・・せ・・・い・・・な・・・ぜ」

そして倒れた

「フフフフフフ　ハハハハハハハハハハハハ　邪魔する者は

いなくなった！　では始めよう！！！！　死のゲームを！！！！」

この出来事を知ることなかった　当選者達であった

&l t; プロログ &g t;

これはあるゲームの話である

――M―B―G―― まじかるブラゲ学院

あるネットゲームが2周年を迎えた 運営がまじかるブラゲ学院のリアルオープンβテストを

行うことを発表し

応募者数は3万を超えた その中ら選ばれた3000人のみが参加できると

そこに選ばれたある兄妹 風切 亮と風切 真由が中心としての話である

この二人を中心として物語が始まる

処女作で、変になるかもしれませんが、よかったら読んでいただけたら嬉しいですよ。 応援よろしくお願いします

1話登場人物紹介（前書き）

今回は設定です　まだ出てない人もいますが、いずれ出ます
新たに人が出るときは、のちにまた違うところで書きます

1 話登場人物紹介

キャラクター

風切 亮

性別…男 性格…女性には優しいが男には厳しい（つまり変態）
年齢…14歳 身長…175cm 体重…50キロ 誕生日…1月9日

趣味…基本はアニメを見ているらしい 好きなアニメはコードギアス ゲームは、放置がほとんどのらしい ゲーム名「フリーダム」ギルド「そんな装備で大丈夫か？」のメンバー

風切 真由

性別…女 性格…完璧超人だが、ネットに漬かり過ぎると性格がすべて魔逆になってしまふ・・・オッソロシイ 年齢…14歳
重度なブラコンである

身長…162cm 体重…45キロ 誕生日…5月14日 ゲーム名「エリンギ」 亮と同じくギルド「そんな装備で大丈夫か？」のメンバー

桜井 蓮

性別…女 性格…見た目はすごく美人だが、中身はヲタクである
そして、変態だ 亮の幼馴染で、よく、亮の家に行ったりしている 妹がブラコンだと言うことに気づいて、手を焼いているらしい
年齢…15歳 身長…158cm 体重48キロ 誕生日…6月25日 ゲーム名「越前」 ギルド「そんな装備で大丈夫か？」の副マスター

坂道 京

性別…女 性格…アニメ好きで、よく亮とアニメのよさについて語り合っている クラスでは、きょーちゃんと呼ばれて、ある意味では亮を超えている 年齢…15歳 身長…156cm 体重…43キロ 誕生日6月6日 ゲーム名「しゃぶしゃぶ」 「そんな装備で大丈夫か？」のメンバー

桜井 洋介

性別…男 性格…とにかくシスコン シスコンすぎてそれ以外が何も言えない 亮とはよく遊んでいて、妹について語り合っていると言う ニックネームはゴリラだ！ 年齢…15歳 身長…178cm 体重65キロ 誕生日6月25日 ゲーム名「レゴリス」

桜井 沙織

性別…女 性格…真面目なような人に見えてまじめじゃない 単なる馬鹿！ 亮の姉のような感じで親しい 面倒見がいい人だ 蓮と洋介の姉だが妹に間違われるらしい 年齢…19歳 身長153cm 体重46キロ ギルド「そんな装備で大丈夫か？」のギルドマスター

ゲーム名「final」

ポン・ポコポン

性別…男 性格…とりあえず変態 変態以外何物でもない エロイ エロすぎる

年齢…不明 身長…160cm 体重45キロ 誕生日…不明
ゲーム名「Golden●」 ギルド「そんな装備で大丈夫か？」のメンバー

橘 辰巳

性別…男 性格…人づきあいがよく、とても優しい人だ グレゴ

リアスとは、日本に來た時から仲良くしている 東方好き

年齢…18歳 身長…173cm 体重…56キロ 誕生日…5月4日 ゲーム名「Time」 ギルド「そんな装備で大丈夫か？」のメンバー

草道 秋保

性別…女 性格…よくからかわれやすいような性格 リアルの時は、よくパシリに使われたりしていた

年齢…13 身長150 体重40キロ 誕生日…4月4日 ゲーム名「Musketters」

古代 進

性別…男 年齢…不明 ゲーム名「Planet」

草加 弘之

性別…男 年齢…不明 ゲーム名「Moon」

一条 小百合

性別…女 年齢…不明 ゲーム名「Sun」

悠木 沙里

年齢…女 年齢…不明 ゲーム名「Jupiter」

大文字 克也

年齢…男 年齢…不明 ゲーム名「World」

神野 陽一

年齢：男 年齢：不明 ゲーム名「The end」

ちょっと長くなりましたが、次回からは、話に入りたいと思います

第1話 悲劇の始まり

「お兄ちゃん！ 起きて！ 今日だよ！ 今日！ 早く起きないと間に合わないよ！！」

「朝からうるさいなー なんだよ 今日だよって 寝させろよ！」

「お兄ちゃん行かない……の？……」
妹を泣かせてしまった

「あー思い出した思い出した 行くからはよー元気出せ！」
「うん！ おにーちゃん！」

お兄ちゃんこと 風切亮 妹 風切 真由

今日は、ゲーム まじかるブラゲ学院のオープンβテストの日であつた

そこには、応募者数3万から 選ばれた3000人が集まって来ると言う

俺（亮）のゲーム名は 「フリーダム」 職業剣士だ
妹（真由）のゲーム名は 「エリンギ」 職業闘士だ

このゲームは、戦士、魔楽師、聖職者、魔銃士、闘士、剣士と言う 6つの職業があり

好きなキャラクターを設定して ゲームをプレイすることができる
他にも聞いているのは βテスト限定のイベントもあるようだ
ちなみにβテストと言うのは 今回は、8月～9月中旬までの間を期間にして

リアルでまじかるブラゲ学院のゲームを体験してみようと言うことで 募集を始めたようだ

どんな人が集まるか……エッチナジョセイイルカナ
という発想はなしで どんな人が来るんだろう！！ 楽しみだ！

「お兄ちゃん もうそろそろ時間だよー！」
「ああ、分かってるよ 先に行っててくれ」
こうして俺たちは行くことにした
この先で待っていることを知らず・・・

第2話 集いし者たち

西暦2012年 8月1日

ゲームまじかるブラゲ学院のオープンβテストが行われる日
そこへ、参加者が次々に集まってくる

真由「おにいちちゃん ついたよ！起きて！ はーやーくー！」
妹のうるさい声がする もう少し寝ていよう

真由「おーにーいーちゃん！！！！ おーきーてー！！！！」

亮「痛い痛い痛いつて！やめんかばかやろー！」

真由「おにいちちゃんにいじめられた・・・（´；ω；、）」
？「あーあ 何泣かせてるの？ダメだねほんとに亮は」

亮「え？蓮も居たのか これなら楽しめそうだ！ 遊ぼうぜ！！」

蓮こと桜井蓮 俺の幼馴染で、同級生だ

よく、うちに来たりして遊んでいる 真由の面倒をよく見てくれるので俺的には最高な人だ！ 顔はモデルみたいに綺麗だが、中身が、ヲタクで残念だ・・・

中身もよかったら俺が嫁に・・・

蓮「ねえ 亮 何か言ったかしら？ 残念だとかなんとかへへ」

亮「いえ・・・何も言ってません レンサマ・・・」
蓮「それでよし なら行きましょう！」

真由「わたしわすれられて・・・る？」

とまあ妹は置いておいて 俺たちは、このゲームの主催者がいる
海●コーポレーションに入ることにした ちなみに海●コーポレーションとは、某アニメの会社の名前と似ているというので●を付けたらしい！ まあそんなことは置いておこう

？「やあみなさん オツカレサマー だいもんじかつや 私は今回のまじかるブラゲ学院βテストの主催者 大文字 克也だよろしく頼む」

大文字克也 今回のMBG（まじかるブラゲ学院）βテストの主

催者の名前だ

年齢は不明で、見た目的には40代前半だ 多くの企業を成功させているという 遊戯●やデュエル●●ターズやヴァン●ードなどを作ったと言われている

え？パクリだって？そんなの関係ねえ！

克也「では諸君 部屋へ案内しよう 組み合わせは私の方でランダムに決めさせてもらった。一応部屋でのルールは言っておこう 楽しく過ごした前 ハハハハハ 粉碎！玉碎！大喝采！」

亮「おう・・・海●社長のセリフじゃねえか・・・」

ここで部屋でのルールだ！

1、ゲームは朝10時から昼13時までの間に一度はログインすること それまでの間にログインをしなかった場合は・・・わかるよね？

2、部屋防音なので何をしてもおk つまり・・・これはあれっすか？www

3、ご飯は、各自で取ること フロントに電話さえてくれればいつでも運んでもらえる おーこれは便利だな。

4、夜は23時にはログアウトすること

5、24時以降に部屋から出るのは禁止 ふむ

以上がルールだ 楽しくなってきたぜ！

――――マスタールーム――――

「ついにこの日が来たか ハハハハッハ 楽しい日が始まるぜ！」

「お前のその企みはかなわない なぜなら俺がお前を殺すからだ」

「フフフ 何を言っているんだね君 できるはずがな・・・いい」

突如倒れ出した大文字

「フン 俺がこの部屋に入った時からお前の死は確定していた このゲームは俺達『LOVE&PEACE』が支配する

お前の役割などもう何もない」

第2話 集いし者たち（後書き）

キャラクター紹介

風切亮 （かぜきりりょう）

この小説の主人公

14歳（中3） 性別男 誕生日1月9日

ゲームまじかるブラゲ学院をやっていて、オープンβテストがあるということやってきた 妹の真由まゆとの二人暮らしだ 両親は亮が小学6年生の時に事故で他界した。 親戚などのところへ行ったが、邪魔者扱いをされ 二人で暮らすことになった

かぜきりまゆ
風切真由

年齢13歳（中2） 性別女 誕生日5月14日

亮の妹で、完璧超人である だが、ネットゲームをやりとすると、魔逆になってしまう 両親を失ってから亮がずっと支えてくれ、いつの間にかブラコンになっていた だが亮はその気持ちに気づいていない どんまいだへqへ

さくらいれん
桜井蓮

14歳 中3 性別女 誕生日3月10日

亮の同級生で、子供の時から亮や真由とは遊んでいた 両親がいなくなってからも、蓮がよく家に来てよく遊んでくれた 二人にとっては恩人に近い人である
ちなみに色々あり 亮のご主人様は蓮となっている

だいもんじかつや
大文字克也

年齢40台前半 性別男 誕生日不明

まじかるブラゲ学院や、遊戯●、デュエル●スターズなどの多くの

作品を生み出している ゲームの天才に近いような人だ 今回のβ
テストを開催したが、ある人に殺されてしまった

第3話 ログイン

――――亮――――

亮「部屋二人部屋って言って誰と同じになるか分からなかったけど、まさか蓮となるとはな。」

蓮「奇遇ね 私も亮と同じになるとは思わなかったわ よ・ろ・し・く・ね？」

亮「イヤデス ボクハニゲダシタイ タスケテーマユ―」

蓮「逃がさないわよ？ ウフフフ」

亮「ギヤアアアヤメーター―」

以後どうなったのかはご想像にお任せします♪

――――真由――――

真由「おにちゃんと部屋同じになれなかったけど、京ちゃんと同じになれたならいいや♪」

京「ほんまやね！ それより私はまゆちゃんや亮君が参加してるとは思わなかったわ。でも楽しめそうやね♪」

真由「ゲームもうログインしていいのかなあ 大文字さんは良いって言ってたけどやっちゃう？」

京「そうやね！ やってみよか！！」

――――マスタールーム――――

？「おや？誰かがログインをしているみたいだな 小百合見てこい」

小百合「えー わたし？ めんどくさいなー でもしょうがないから行ってきます♪」

？「進 お前にも頼みがある ちょっとした要注意人物 ポン・ポコピーの監視を頼みたい」

進「御意 何か怪しいことがあったら報告いたす」

？「ああ 頼んだぞ。」

★「ねーねー わたしにはなにかないのー？ つまんない！」

Σ「俺にも仕事はないのか？」

？「弘之に沙里 今お前らに頼みは特にないが 部屋の監視とプレイヤーの監視を頼む。それと俺はる作業に入るから 邪魔しないでくれよ」

沙里& a m p; 弘之「分かった（わよ）」

亮「なあそろそろログインしようぜ？ 俺はやくやりてーよw」

蓮「そうね 確かキャラクターの名前と職業はもとの奴を使えて レベルだけがリセットされるんだったかしら？ まあ地道にlv上げましょう」

亮「だな とりあえずまたあとでな 蓮」

蓮「はーい」

――――タ・・・ス・・・ケ・・・テ・・・――

――――

亮「？ 蓮なんか言ったか？」

蓮「何も言っていないわよ 耳悪いの？ 私は先に行ってるからし

っかり来なさいよ」

亮「あいよ 今度こそ後でな」

――――オ・・・ネ・・・ガ・・・イ・・
・・・ト・・・メ・・・テ・・・キ・・・ボ・・・ウ・
・ハ・・・ア・・・ナ・・・タ・・・シ・・・カ・
・

システム「ゼンプレイヤーノログインガカンリヨウサレマシタ」

？「フフフフフフ ハハハハハハハハ これから始まる さあ 死のゲームの始まりだ！」

システム「ゲームがスタートされました ログアウトは不可能と
なります みなさんお楽しみください」

第3話 ログイン（後書き）

京・・・坂道京さかみちきょう

年齢15歳（中3） 性別女 誕生日6月6日

亮と蓮の同級生 小学5年の時に関西から転校してきた

最初は、馴染めなかったが、蓮と亮のおかげで今は馴染むことができる
きている 二人のことは恩人と思っている
亮の妹真由とよく喧嘩をするらしい？

草加 弘之くさかひろゆき

年齢20代前半 性別男 誕生日不明

大文字をころしたメンバーの一人

ボスの右腕である

古代 進こだいすすむ

年齢19歳 性別男 誕生日不明

同じく大文字を殺したメンバーの一人

ボスの命令を確実にこなすプロである 一応大学生だ

一条 小百合いちじょうさゆり

年齢20代前半 性別女 誕生日不明

大文字を殺したメンバーの一人

ボスに惚れて、このグループに入ったと言う ボスの為なら何でも
やると言う女だ

悠木 沙里ゆき しゃり

年齢19歳 性別女 誕生日不明

同じくメンバーの一人

弘之と付き合っている 弘之がやることなどには、絶対に一緒に居る

一途な人だ　ボスの言うことは聞くが、一番は弘之だ

なんか変になりましたがこんな感じでいいかな？

第4話 その名は（前書き）

戦闘はたぶん次からはいると思いますが、下手なので・・・ア
ドバイスなど頂けたら嬉しいです それと脱字報告などできたら
お願いします

第4話 その名は

— — — — — ハ ジ マ ツ
タ リョ ウ オ ト ウト .
. ヲ トメ テ

亮「なんだこの声は？ さっきから 他の人聞こえるか？」

蓮「聞こえないわよ 耳おかしいんじゃないの？」

真由「聞こえませんよ お兄ちゃんどうかしたの？」

亮「いやさっきから助けてとか 弟を止めてとか色々聞こえるんだ」

全プレイヤーに次ぐ

私はこのゲームの支配者 神野陽一だ！

「な、な、なんだ？ なんなんだ？」

「おい ログアウトできないぞ！ これどういうことだよ！」

「コワイヨオ こわいよお」

「くっそ なんでなんだよ!!!」

「まさか デスゲームが始まるのか!!!! いやだ! いやだ!!!!!!」

新しいルールを私が作ったのを教えよう

まず1つ目だ 最初にこのゲームの痛みは現実と同じだ プレイヤーが死んだらその人物も死ぬ

2つ目だ 食事についてだ 普通の生活と同じように食事を取らないと餓死して死んでしまうだから、きちんをとることだ

3つ目 不純異性交遊の禁止だ！ あ、俺以外ね！

まあルールはこんな感じかな 破ればそれ相応の罰を与えるよ

それとこのゲームから出る方法は1つ

ひとつは、おれを合わせる どこかのフィールドに居る我ら『L

O V E & a m p ; P E A C E』のメンバーを倒すことだな

まあお前らにはできないと思うがな
楽しみに見てるよ 頑張れよ^^

こうして、死のゲームが開始された

第4話 その名は（後書き）

神野陽一

生年月日すべて不明

姉の敵で大文字克也を殺害 チームLOVE&P,PEACE
のリーダー

古代進を含む4人を従え、このゲームを支配している
姉の名はまだ不明

第5話 それぞれの道（前書き）

とりあえず次から戦闘に入るかな？

脱字報告などお願いします

第5話 それぞれの道

ゲームがログアウト不能になってから1週間が経過しようとしているゲームで転職と言うシステムも追加された

転職は 戦工士、聖職者、魔銃士、魔楽師、闘士、剣士から好きなキャラクターに変えられると言うのと新たな設定らしく 武器屋、防具屋、アクセサリなどを作ると職人

系7種類の職業ができたらしい デスゲームとなつてからは、職人になる人が増えてきていて、職人たちからは、攻撃職などは、死に行つて馬鹿と思つてゐるらしい

そして少しはパニック状態から収まつてはいるが、色々なグループに分かれている

俺を含む数グループに分かれ、固まつて行動し、攻略をゆっくり頑張るグループ

早く出たくて、ソロや、グループで攻略を急いで進めるグループ

プレイヤーを襲うプレイヤーキラーグループ

混乱でずっとユウム村にとどまるグループ

現在はこの4グループに分かれている

ユウム村と言うのは最初に始めた時に居る場所で、武器屋などがあるが、初心者用のものなどしか売っていない

ちなみにこのゲームは本来カンは140だが今回のゲームはカンは200となっている

現在攻略を進めているグループの平均lvは30〜35となっている俺達ゆっくりグループは、平均lvが20〜24となっている

聞いている話だとlvが30を超えたことで、新たなステージ、クエストが出たらしい

まず1つ目のクエストは

このゲームにある城 まず一つはアーロン城 二つ目はシエムリ城

三つ目はエミリア城 四つ目はセンドラ城を飛びデーモンから守れと言うクエスト
もうひとつはライン学院、リンダ学院、ナスカ学院、バリー学院、ラナル学院、レッセ学院の6学院を、暗黒の騎士軍団から守れと言うクエスト

城の説明を先にしよう

アーロン城とは、レベルが10に達したら行ける城で 他の城も普通のゲームならいけるが、シエムリ城は30から エミリアも同じく30 センドラ城は40からとなっているらしい
すべての城は、ユウム村と同じく武器が売っていたりする そこに露店商を行っている

武器の等級を説明しよう

等級の順番は白↓緑↓青↓紫↓橙↓虹となっている

白等級は普通の素材で作成することができ、緑からは2等、3等、4等、5等となっている

素材の合成もできる 5個で100% 4個で90% 3個で70% 2個で50%となっている

武器の作成は武器屋でしか行えない 費用はかかる

現在の知っている中では、攻略を進めているグループで橙等級の武器を所持で来た人が居るらしい 虹についてはまだ謎だ

ちなみに虹の作成方法は、いまだにわからない

白の攻撃力が50なら緑は100 青は150 紫は200 橙は300 虹は?となっている

防具も同じ要領だ 最初に配布される装備は、ゲームなら青等級となっているが 今回は紫となっている。

このおかげで、最初のボスや、敵などは苦戦などをしなくてすんでいる

現在俺を含むグループのメンバーを紹介します

一人目は、この物語の主人公で、自称最弱剣士で、語り手の風切亮
二人目は妹の風切真由 説明は、2話ぐらいで書いたはずなので、
飛ばそう

3人目 桜井蓮 幼馴染だ 4人目は坂道京 同級生で、よく話したりする人だ 二人の詳しい説明も書いたはずなので見ていただきたい

そして新たに加わった人達

まず最初に蓮の姉 桜井沙織ことゲーム名「final」だ リアルでもゲームでもとても面倒見がよくお姉さんの存在だ この人が居ると、とてもゲームが楽しくなる 今の状態でも同じだムードメーカー的存在だ だが、酔っぱらうと恐ろしい……

その次にゲーム名「Time」こと橘辰巳だ

俺の兄貴的な存在の一人だ 俺が小学から中学の時でもいつも遊んでくれている優しい人だ

俺は辰巳さんのことは、本当の兄のように慕っている 今のところでも、おれの心の支えになってくれている人だ 真由は嫉妬的な目を向けているが……

そして最後に謎な人物 ゲーム名「Golden●」ことボン・ポコピー

これについては全く謎だ ここに来た時から記憶喪失らしい 最初に神野（4話登場）がモニターのような画面でこいつのことを見ていた

俺の勝手な予想だがこいつは、クリアするための重要な人物らしい気がする

そのため、俺はこいつを仲間に取り入れることにした

ちなみに俺の職業は剣士 真由は闘士 蓮は魔銃士 京は魔楽師 辰巳は剣士 沙織さんは魔銃士 ボン・ポコピーはステータスがなぜか見ることができなくて、わからない

本当に謎だ

そして俺たちの仲間に入れようとした人が一人いた　だがそいつは、なぜか俺たちから離れ一人でクリアを目指そうとしている・・・

そいつの名を　桜井洋介　ゲーム名「レゴリス」　職業は魔銃士
俺、京の同じクラスのメンバー　そして、蓮の双子の兄だ

クラスでは、みんなの中心的存在で、こいつがいなければ駄目だと言うほどまでの人物だ　なのに・・・

最後にようすけが言った言葉は「お前らはお前らの道を進め　俺は決着をつけてくる」

これがあいつの最後の言葉だ俺たちは、あいつを探しに行くと決めた

そして今俺達のグループは、アーロン城へ入るために、レベル上げを行っている

第6話 現れし物

亮「ハアアアアアア おりゃあああああああああああ」

ブリッ★

蓮「あんた・・・何してんの？」

そう今のは、 う●こだ★

戦闘かと期待した人いないだろうが、 申し訳ない
今日々の日課を行っている

そろそろ、アロン城へ着くところで、着いたらきつとしばらくはで
きない気がしたので今しておいた

この話は置いておいて

つい先日

俺らのグループの一人 ゲーム名「Time」こと辰巳が

橙武器を制作した

これで、おれらも戦闘が楽になった

え？俺はって？ まだ紫ですけど？

みんなも紫だよ！！ 早く虹作れって言われても・・・ わ
からん！w^

ログアウト不能になってから2週間がたった

最初は3000人いたがプレイヤーキラーなどの影響によって人数
は2000人と千人近い人が消えてしまった

そんな中、攻略を急ぐグループは、1vが50を超えてセンドラ城
のクエストを受けれるようになったりしていた

つい2日前 あるプレイヤーが50を超えたことで、新たなシステ

ムが登場した

ギルドシステムだ

トップのグループはすぐギルドを作り、ギルド名を「革命」と名付けた。これは、この世界に革命を起こそうと言うことでつけたらしい。ギルドマスターは、橙武器を最初に作り上げた男。ゲーム名「シヤドー」と言う男だ。副マスターには、橙装備の一つを完成させた人。ゲーム名「ヴィーナス」がなった。

シヤドーは、501vに一番最初に到達し、新たなクエストなどを発見していた。

俺達もギルドを立ち上げることにした。

ギルド名を「ドロー! モンスターカード!」と名付けたかった。だが、みんなは反対したせいで却下された……。クソウ。その後沙織さんの意見でギルド名「そんな装備で大丈夫か?」というギルド名になった。

ちなみに、それはつい先日、アロン城へ向かう最中に会った武器屋の人に、こう言われたのを思い出したからだ。

武器屋「なあそこのお前、そんな装備で大丈夫か?」 亮「大丈夫だ。問題ない」

と言う意味がわからない理由だが、ギルドが制作された! ちなみにマスターは沙織さん。副マスは、おれ!!!!!!!!!!!!!!

と言ったら却下され、凹んだ……。副マスは蓮となった。ちなみにこのギルドのあいさつはこうなっている。

「そんなあいさつで大丈夫か?」 「大丈夫だ問題ない」
「こうかえすのがルールだ! 覚えとけヨ。テストに出すからな!」
その話もとおりあえず置いておいて、

ギルド「革命」のギルマス。シヤドーが50へたったしたところ新たなクエストが出た。

「私を助けて」

と言うクエストだ

どういう方法でクリアするかと言うのは、いまだにわからないだが、これは重要だと思い 革命の人たちは進めているらしい
なぜだがわからないが俺のクエスト欄にも新たなクエストが追加されていた

「私を見つけて」

これにはなぜか場所もすべて書かれていた 場所はクラク極地
110以上が対象なエリアだが、今俺たちのlvは40で、箒というアイテムが配布され、使えるようになった

これは、空に浮かび、自分の好きな場所へ行くことができる 地面に居ない限り、敵と出会うことはなくなった
さっそく俺たちは、クラク極地へ移動することにしたその時俺たちが行こうとした瞬間にある奴が俺に戦闘をしかけてきた

? 「フッフ 貴様らも俺たちのいけになりに来たのか？」

亮「おい お前 何の目的で俺たちに近づいてきた? Musketters」

今俺たちの前に居る 敵 Musketters 今のギルド「そんな装備で大丈夫か?」が結成する前までギルドに入る予定だったが 突如消えて、PKプレイヤーキラへとなり下がった

Musketters「フ 亮覚悟するんだな うおおおおお おおおおおおおお」

その瞬間俺たちは戦闘に入った

俺は剣士 Muskettersは闘士 物理職同士、どちらかの武器が当たったら 勝負が付くだろう

俺はまず最初に剣士のスキル 連撃を発動した
連撃とは、のうちに2回攻撃をし、相手を引き裂く技

初級だと2回 中級も2回 上級からは3回となっている

俺はまだ中級なので、2回だ これで、確実にダメージを与え、倒すつもりだった

だが、あいつはまだ立っている 無傷で・・・

俺はそれを見た時信じられなかった 俺が居るギルドでも、攻撃は確実にあたり、無傷などあり得ない俺はなぜ無傷なのかが本当に信じられない

Musketters「お前の実力はその程度まで落ちたのか？ゲームでいつも俺を馬鹿にしやがって ここに來た時な、決めたんだ お前を確実に潰すとな」

これは・・・ヤバイ 俺の勘がそれを察知した

突如いきなりMuskettersがいきなり雄叫びをしだした その瞬間アロン城が埋まるほどの敵が現れた おもに竜系のモンスターだ

モンスターは悪魔系、植物系、野獣系、人型系、竜系とある

竜系は、他のモンスターに比べると 硬く、ダメージを与えるの事態が難しい それを見渡す限り数は、300はいると考えていいだろう・・・

他のメンバーは、俺の前に全員クラク極地へ移動してしまった

これは絶体絶命のピンチだ・・・

亮「くそっ・・・移動するにも移動できねえ・・・」

Musketters「亮 苦しいか？ お前が今まで俺にしたことを謝ればやめてやるよ さあどうする？」

く・・・ こいつには絶対に謝りたくない 死んでも謝りたくない

どうする・・・

その瞬間 空から声が聞こえた

「亮困ってるみたいだな 助けようか？」

亮&Musketters「おまえは・・・」

第7話 現れた敵（前書き）

今回 LOVE& P.E.A.C.E.の1人が登場します

Musketters「話はそこまでいいかな？ さあレゴリス おまえもしね……………え？」

突如Muskettersの胸に穴があいた 遠方から射撃されている

??「あーあ お前らそこで何してんの？ 陽一さんの邪魔されるとマジ面倒なんだよね 消えてくれない？」

亮「おまえ……………誰だ そしてなぜこいつを殺す必要がある！！」

??「だってさ さっきから話聞いてると こいつ邪魔でしょ？ 殺したら居なくなるんだからそれでいいじゃん 俺マジ良い人 惚れて掘れて！」

レゴリス「さっきから思うがお前何者だ？ 名前ぐらい言えよ」

??「あー わりーわりー 俺の名前は 草加弘之 「LOVE & P.E.A.C.E」のメンバーの一人 アーロン近くに居るから巡回してたらお前ら見つけたわけよ」

LOVE & P.E.A.C.E 神野陽一率いるボス的な立場の奴だ 神野の言った話だとこいつらを倒せば俺たちは帰れる だがこいつには今は勝てる気がしない…………… 逃げるが勝ちかな？

でもこいつは”撃ってきた” 撃つということは魔銃士と考えられる これは逃げないべきなのか逃げるべきなのかじょうじ気迷う

レゴリス「ほう それなら早い お前を倒せば後3人になり早く抜けられるということか？」

弘之「あー おれつえーよ？ 陽一さんの次にね お前弱いだろ？ 勝てるのか俺に 勝てるならやってやるよ」

レゴリス「おもしれえじゃねえか やってやるよ 覚悟しろよオラアアアアアアアアアアアアアア」

その突如二人の撃ち合いが始まった

魔銃士のスキル 属性弾lv1 レベルは10まであり lv毎に属性が違う

属性は全部で6種類 水、火、風、地、闇、光 闇と光だけが1箇所だけだか他は2箇所ずつある

元素の鎖と言うのがあり、撃った後に偶に頭の中に次にこれを撃つと威力が倍増されると言うのが出る それをつなげ、相手にだめーじを与え倒す

レゴリスが最初に撃ったのは 水属性で 次に火の鎖が出た
次に火の属性を相手の足をめがけ撃った バンッ

あたり一面が煙で覆われた だがその煙が晴れた瞬間 レゴリスの足が撃たれ、レゴリスが倒れた

レゴリス「ぐっ・・・なぜだ お前はなぜあれを食らっても無傷・・・なんだ」

弘之「あー 俺のアーマーの効果 魔法攻撃無効だからさ 効かないんだよね だからお前には絶対負けないわけ しかも俺の攻撃は魔法職と対戦する時は3倍のダメージを与えられるんだよね だから、おれお前には負けないよ？」

魔法、物理職について 剣士、闘士、戦士は物理職 聖職者、魔楽師、魔銃士は魔法職 3種類ずつ分かれている 魔法職は、スキルを発動し、勝手に攻撃をしてもらう 物理は、自分から攻撃をしに行く これでわかれている

だが、草加弘之のアーマー 魔法無効 これは、魔法職に勝ち目がないということだ

弘之「降参する？ まだ諦めない？ 諦めないなら撃って殺してあげるよ」

レゴリス「俺は・・・負けない あいつの為にも」

亮「やめろ もう・・・ 草加 俺は今はお前に勝てないとわかる だから、力を蓄えてから倒す お前を楽しませるまでに時間をくれ」

弘之「楽しませてくれるのか？ 楽しませてくれんなら逃がしてやってもいいよ？ ただしつまらなかったら確実に殺すぞ お前を」
亮「ああ それで良い だから、おれたちに時間をくれ」

弘之「しゃーねーな まあいいだろう 俺はまあ待っててやるよ
ちなみに俺が居る場所は ここからかなり離れた場所 マーリ梅
林ってところに居るぜ まあさっさと来いよ」

その瞬間 草加はいきなり消えた おそらく飛天符と言うアイテ
ムを使い、移動したのだろう

時間はもらった 俺たちは力を蓄えることにする 確実に俺たち
は、この世界から抜けだす!!!

そして……俺はハーレムを作るんだ♪

レゴリス「おい……なぜ助けた そして今の最後は何だ？」
亮「まあ気にスナよ とりあえずお前は俺のギルドへ来て、協
力してあいつを倒すか？ それともまだソロで頑張るのか？」

ここで、ソロでやると言ったら、おれはもうこいつと関わるつも
りはない

これが最後のチャンスだと思って言った

レゴリス「ふっ ソロでは俺も今無理だと思った しょうがない
ギルドへ入れてもらおう」

よし勧誘成功!!!!!! これで俺のパシリ君だ♪ コキ使ってや
るぜこの野郎

こうして、おれは洋介ことレゴリスを勧誘に成功し、一緒にクラ
ク極地へ向かうところだ

Musketersは、最後に言葉を残し、消滅した……
死んだ奴はこうなるんだと言うことが改めてわかった Musk
eters お前の犠牲は無駄にしない……そしてあり
がとう

第8話 新たな出会い

弘之「お前まだ懲りないの？ 俺には勝てねえって 死にたいなら殺してあげるよ？」

その瞬間 首と腹のあたりに、強烈な激痛が走った・

レゴリス「はあはあはあ 夢か・・・ なぜおれはこんな夢を・・・ くそっ」

？「そんなに悔しいのか？ 死にたかったのかな？ 殺してやろうか？」

？「が言葉を発した瞬間 レゴリスの首元には、剣があり、少しでも動かすと首に刺さる位置にあった

レゴリス「てめえ・・・ どういうつもりだ 俺を殺せるとでも思ってるのか？」

？「ああ 殺せるよ 君が死にたくないなら動かない方がいいね」レゴリス「なめやがって オラアアアア・・・」

その瞬間 ？の剣が首を切り レゴリスの首が転がっていた・・・？「だから 動くなと言ったのに・・・」

この時 レゴリス（桜井洋介）と言う存在は消滅した・・・

？「お前はここに居る必要はない いくら亮が許可したと言ったからと言ってな 俺はお前が憎い だから入れるつもりはない 消えろ」

朝 ギルド「そんな装備で大丈夫か？」の間に不穏な空気が流れたその理由は、桜井洋介ことレゴリスが消えたと言うことだ

朝に辰巳（Time）が全員の寝ているのを点検した居たところ、レゴリスのところに、血の跡があり レゴリスが消えていたということだ

レゴリスが消えたと言うので、みんなが大騒ぎになり、騒ぎは収まったが、今は不穏な空気が流れている

一部では、第一発見者の辰巳が殺したのではないかと言う話でている……

沙織「なんで…… 洋介がなんで死ななきゃならないのよ

！ 誰よ殺しやつは 出てきなさいよ！」

蓮「姉さん落ち着いて！ 気持ちにはわかるけど、私たちが今こう言っただけでもないならいんだよ……」

蓮、沙織さん 洋介の姉と妹だ 悲しい気持ちがとても強いということは俺らがわかって……

だが、ここで止まってはいけないと俺は思い、発言し クラク極地のある場所へ向かうことを決意した

クラク極地 極寒の地で 防寒対策などがないと無理だ そこで

モンスターになど襲われたら…… 大変だな。うん

だが俺達には筈があり、敵と遭遇することはないはず…… 空中にモンスターがいなければだけだね？

俺たちは洞窟へ入ろうとした

亮「そろそろじゃないのか？ 目的地は 何か手掛かりがあったらいいんだ……が」

その突如 亮はいきなり倒れ出した

亮が倒れた瞬間 頭の中に声が聞こえた

ワタシ……ハコ……コニ……イル……

タスケ……テ……

亮が気絶してから、30分近くが経過した

亮が気絶している間に、沙織さん達は亮を引っ張り洞窟へと入って行った

沙織「亮君大丈夫かしら…… 心配だわ 亮君まで居なくなったら……」

辰巳「大丈夫だよ 沙織さん あいつは絶対無事だよ……」

亮「ハッ！！！！　今まで俺は何してたんだ？？？」

ギルドメンバー「「亮（兄さん）！！　よかった！！」」

真由「兄さん……」

突如真由が抱きついてきた

この胸の感触……うん　最高♪　とか思った瞬間蓮からのゲ

ンコツが降ってきたのは言うまでもない

蓮「あんた何してんのよ！　あんたのせいで時間ロスしたのよ・

・どうしてくれるの」

亮「ごめんよ　でも気絶した瞬間　声聞こえたんだよね　だから

きつと行ける」

そう　俺が気絶した時に声が聞こえた　私はここに居る　助けてと

名前も聞いた　名前は　神野　美優　ゲーム名は「ミズリ」と言

うらしい

亮「そうそう　場所まではわからんが、正体はわかった声のね

名前は神野美優って言うらしいよ！……ってカミノオオオ

オオオオオオオ？」

神野……　神野陽一　このゲームの支配者の名前だ

ってことは姉なのか？　驚きだな。うん

蓮「あんた……　このゲームとなんか関係でもあるの？」

沙織「あるかもしれないわね……　神野美優……　なん

か聞いたことある名前だわ」

辰巳「俺も聞いたことある　なんだっけな……」

真由「……わかんないw」

ポン・ポコピー「神野美優……　先月事故で亡くナッタッテ言

う人だヨ」

ポン・ポコピーが話した瞬間突如声がした

ワタシハ……ココヨ……

洞窟に声が響き渡った　これは・

亮「行くぞ この声はあの人だ
俺たちはついにたどり着いた

俺に話しかけてきている声の人
重要な手掛かりな人物と・・・

そしてこのゲームを抜け

第2章 プロローグ（前書き）

次回から、入っていききたいと思います 第2章に

第2章 プロローグ

ゲームから脱出不能になって 今日で1か月がたとうとしている

最初のころは、色々と混乱したりしていて、脱出を考えている人なんてほとんどいなかった

だが、それはある日から変わった・・・

――――システム――――
――――

メインクエスト 「私を見つけて」がクリアされました これよりシステムが変わります

そうこのアナウンスが流れた

これにより、どんな場所でもPKが可能になり、相手の攻撃も完全に肉体の痛みになり

戦闘中に回復薬が使えなくなった・・・

そしてもう一つ 1週間に2度行われるようになった ”ギルド戦争”

ゲームではこれはまだ実用されていなく、なぜか今の状態で使われることになった

ギルドに入っているものは、必ず参加しなければいけない
そして、勝ったギルドには報酬がある でなければ、処刑されてしまう・・・

今現在 作成されているギルドは

「LOVE&P;PEACE」 「革命」 「そんな装備で大

丈夫か？」 「闇の騎士団」 「暗黒の音楽団」

「聖なる集い」 「産業革命」 「もっといい装備を頼む」 「N

o.1」 「パラダイス」 「ガンダーラ★ブホテル」 「MJDK」

今のところはこんな感じだ おそらく増えることはないだろうが、
このギルド戦争において、ギルドは少しでも多くあったほうがいい
だろう

このギルド戦争は、毎週 月、木に行われる

点数がある ギルドに入っているものはその日の正午にギルド領
地へ集合し、敵を倒す

そのイベント時のみ現れる 「暗黒のギルドマスター」
各ギルドのマスターと同じ強さの、敵が現れる 全部職業が別々だ
それを、一定時間の間倒し、その倒した数によって決まる

1位は、1週間 どこでもギルドメンバー全員が一瞬で移動できる
と言う アイテム 天符と言うアイテムが手に入る 2位は、こ
のゲームでのお金 銀券、銀貨、金券があり、銀貨、銀貨は1人あ
たり1000万銀貨 金券は400手に入ると言う

最下位は、誰か1人が、命を捧げなければいけないと言う・・・

話は変わり、メインクエスト「私を見つけて」をクリア、このゲー
ムの重要な人物である ゲーム名「ミズリ」こと神野美優がギルド
に加わり、圧倒的な力を見せている

この神野美優を狙い、LOVE&P;PEACEのメンバーや、

他のギルドが狙っている・・・

こうして、死のゲーム第二ラウンドが開始される

第2章 第1話 LOVE&PEACE(前書き)

なんか変になっちゃったのですが、アドバイスなど頂けると本当にうれしいです

第2章 第1話 LOVE&PEACE

今回はギルドとなった LOVE&PEACE

そしてそのギルドマスターにして、ゲームの支配者

神野陽一 この人の目的について今回説明しよう

神野美優・・・陽一の姉で、このゲームの開発者 だいもんじかつや 大文字克也
によって殺された

美優が、克也の計画を止めようとしたことによって、克也がそれに
激怒し、殺害をした

この時、姉の美優はこのゲームに、自分の意志を取り込んだキャラ
クターを、ゲームに封印した

それが、克也にばれないようにと、工夫して 弟である陽一だけに
これを知らせた

そして陽一は、この計画 ー ●類補完計画ー を実施した ※某アニ
メエヴ ● ●ゲリオンのパクリと思った人は・・・負けだよ？w

メンバーの

古代進、悠木沙里、草加弘之、一条小百合 以上の5名と一緒にこ
の計画を開始した

古代進とは、大学の先輩、後輩と言う関係で 沙里も後輩で、陽一

を好きと言う思いで、この話を聞き、参加

弘之は陽一と同年で、この計画の第一参加者だ 小百合は、弘之の彼女で、弘之がやるなら私もと言ひ、参加した

この計画の目的

- ・ 姉の救出

- ・ 大文字克也の殺害

- ・ ゲームの支配

- ・ 参加者に絶望を与え、自分を見つけ出させる

そして5つ目にこのゲームで姉と一緒に死ぬこと……………だ

5つ目のこれは、メンバーでは弘之しか知らない

他のメンバーには告げるつもりはないらしい

そして、このメンバーの中に裏切り者が居るのを、陽一と弘之はまだ知らない……………

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6488y/>

---M-B-G---死の学園

2011年11月30日19時59分発行